

## 究極の研究目標

畜産研究所 菊地 茂樹



平成9年度から、岩手県の農業関係試験研究機関が統合され、新たな心構えで事に当たることとなった。今さら言うまでもないが、世界の食糧事情や日本の食糧自給、更には産地間競争など農業にかかわる課題は山積しており試験研究機関に対する期待も大きいものがある。これに対応するため、第7次の試験研究構想が策定されたところであるが、最近の科学技術の急速な発展、とくにも育種の分野においては遺伝子解析の進展によっては予測もできないような急展開があるかもしれない。

そもそも、自然科学や社会科学を研究する学問とはなんであるのか。

それは生命の解析、命の起源を解明することにあると、私は考えています。これは永遠の命題であるとは思いますが、最近の生物工学の発展を見ると徐々にではあるが、この命題に近づいているのではないのでしょうか。

幸い、我々はこれの解析に近道な自然科学に関係しております。この命題の解明に突き進もうではありませんか。

## 岩手県農業研究センター畜産研究所

畜産研究所は本所が機能別の研究室で組織されています。家畜を取り扱う部門は、優良種畜を作出、造成する家畜育種、管理技術を確認する家畜飼養胚移植・DNA等バイオテクノロジーを研究する家畜工学の3研究室。草地・飼料・畜産環境に取り組むのは飼料生産研究室です。

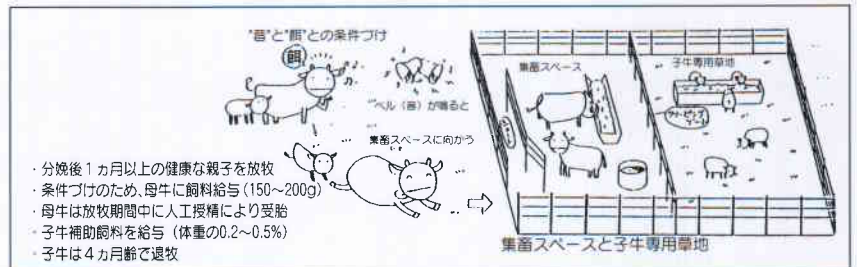
本所のほかに玉山村には外山畜産研究室、住田町には種山畜産研究室があります。今回はこの2研究室を取り上げます。

種山研究室は黒毛和種の種雄牛を選抜・飼養し、その凍結精液を県内に供給しています。

外山研究室は中山間地の自然と畜産を結びつける技術の開発を進めています

参考事例・音声誘導による集畜と発情同期化による繁殖促進。専用草地と補助飼料で子牛の発育向上。広い牧場の放牧牛を集めるのは大変です。楽に集める方法を紹介します。

- ① 牛を集め餌を与え音を聞かせます。
- ② 2週間ほど続けると牛は学習し音を聞くと集まるようになります。
- ③ 牛が集まればホルモン剤で発情をコントロールして繁殖を促進できます。
- ④ 子牛も一緒に集まり子牛だけ入れる草地で草と補助飼料を食べて良い発育をする。



県産種雄牛の中から代表的な2頭を紹介します。

第5夏藤号 昭和63年生まれ 産地花巻

父 寿高 母 なつふじ 母の父 裕徳

特徴/産子は体形良く、産肉能力は質・量兼備。

精液は月平均1,500本以上使われている。

夏茂号 平成元年生まれ 産地江刺市

父 菊谷 母 なつしげ 母の父 賢晴

特徴/産子は均称が良く、産肉能力は量より質でサシが良く入る。枝肉成績が出て精液の需要が増えている。



第5夏藤号



夏茂号

## 大区画試験ほ場水稲移植作業公開試験

5月22日、農政部長を迎え、3ヘクタールの大区画試験ほ場の田植えが行われた。レーザー光線を利用しての平面化や、自動化された水管理の試験などにより省力化への応用が期待されている。

## センター内りんご摘果一斉作業行われる

6月12日、農業研究センター内のりんご(普通樹)およそ100本余りの摘果作業が、全職員総出で行われた。

中には初めてこの作業を行う職員もおり、農作業の苦勞を改めて体感したとの声も多かった。



# 6月行事予定

## 農業研究センター

- 9 畜産技術協会理事会 東京都
- 10 農林水産委員会調査 9:50～ 特別会議室  
農政部長への業務報告 13:30～ 県庁
- 11 地権者への施設説明会 13:30～ 大会議室
- 12 稲作等問題懇談会 13:30～ 県北農業研究所
- 13 北上市長等視察 9:30～ 特別会議室
- 16 農政部出先機関公所長視察研修 9:00～ 研究センター  
県植物防疫協会理事幹事合同会議 11:00～ 農業保険会館
- 17 バイオテクノロジー研究調整会議 10:30～ 県民会館  
拠点試験地運営協議会(ぶどう) JA矢沢支所  
二戸地方農業振興協議会 13:30～ 二戸合同庁舎
- 18 岩手県試験研究機関場所長会議(～19) 14:30～  
水産技術センター
- 20 岩手県農林統計協会役員会 15:00～ 北ホテル  
県植物防疫協会通常総会 11:00～ 農業保険会館
- 23 東北地域農業関係試験研究場所長会議(～24) 13:30～ 研究センター
- 24 岩手県会計協会北上支部総会・研修会 13:30～ 北上地区合庁  
土壤保全対策事業成績検討会(～27) 13:00～ 山形県  
畜産技術協会理事会 東京都
- 25 岩手牛普及協議会 東京都  
東北・北海道土壤保全対策事業検討会 13:00～ 山形県天童市  
食の匠推薦会議 12:00～ 県北研究所

- 26 岩手県酒米研究発表会 14:00～ 盛岡市  
食品加工研究会 仙台市
- 7月上旬 稲作技術対策会議 研究センター  
県内加工特産品開発事例交換会 研究センター
- 7月中旬 本部開所式・祝賀会 研究センター

## 病害虫防除所

- 6 地方別植物防疫事業推進会議(旧宮古管内) 13:00～  
遠野市役所  
純情産地を守り育てる運動推進協議会 14:00～  
エスポワール
- 10 農林水産委員会調査 9:50～11:00 特別会議室
- 13 農薬安全使用講習会 水沢
- 16 県植防理事幹事合同会議 16:00～ 農保会館  
地方別植物防疫事業推進会議(旧二戸管内) 17日 13:00～  
野田村えぼし荘
- 17 農業共済地域対応統合対策協議会合同部会会議  
10:30～ 農保会館
- 19 農林航空防除事前協議 20日 13:30～ ホテル大観  
平成9年度第1回りんご病害虫防除研修会 13:30～  
農研センター
- 20 県植防総会 11:00～ 農保会館8F 第一会議室
- 23 革新防除システム事業無人ヘリ散布 胆沢町・栗石町

## IBCラジオ農業最前線放送予定

月～金 午後0時55分～

- 6/2～3 水稻の直播きについての研究紹介  
企画経営情報部 村上和史
- 6/4～5 畜産研究所の紹介  
畜産研究所 杉若輝夫
- 6/11 野菜の鮮度保持  
～12 生産環境部 佐藤博美
- 6/16 ブドウの結実確保  
園芸畑作部 鈴木 哲
- 6/17 果菜類生育中期の管理について  
園芸畑作部 深澤明子
- 6/18 麦の品質向上対策  
園芸畑作部 高橋昭喜
- 6/19 リンドウの定植及び定植後の管理  
園芸畑作部 井野俊成
- 6/23 稲のいもち病抵抗性について  
農産部 佐々木力
- 6/24 稲のいもち病防除について  
農産部 佐々木力
- 6/25 米の食味と品質  
農産部 中西商量
- 6/26 米の食味向上のための栽培法  
農産部 中西商量
- 6/30 胚移植を応用した乳牛の改良  
～7/3 畜産研究所 川村輝雄

## 「おはよう今日も元気で」内容

午前6時50分～

- 6/13 大区画圃場での稲作栽培について  
農産部 伊藤勝浩
- 6/20 麦の収穫・乾燥のポイントについて  
園芸畑作部 高橋昭喜
- 7/4 農薬の安全な使用法  
生産環境部 築地邦晃
- 7/11 水稻の水管理と追肥  
農産部 一守貴志
- 7/25 コリのプレルーティング技術とボックス栽培  
園芸畑作部 阿部 潤
- 8/1 野菜の病害虫防除  
生産環境部 石川佳子
- 8/8 農業研究センターにおける「マーケティング」の紹介  
企画経営情報部 星野圭樹
- 8/15 寒さに強い水稻品種の開発  
農産部 菅原浩視
- 8/22 「きおう」等、りんご早生種の落果防止剤散布と収穫適期  
園芸畑作部 鈴木 哲
- 9/5 りんご早生品種の予冷と鮮度保持  
生産環境部 佐藤博実
- 9/12 雑穀収穫における汎用コンバインの利用法について  
農産部 藤原 敏

## 農業研究センター紹介のテレビ放映のお知らせ

- 番組名 テレビ岩手「みんなのひろば」
- 日時 平成9年6月22日(日)  
午前7時45分～8時00分
- 内容 北上の研究センター本部や県北、畜産の各  
研究室の紹介をはじめ、大区画ほ場やバイ  
テク研究の様子などを紹介します。



## 主な来所者

- 5/1 宮城県畜産試験場(畜産) 1名
- 5/1 岩手県農業経済連(県北) 3名
- 5/7 秋田県畜産試験場(畜産) 1名
- 5/12 前沢町肉牛部会(畜産) 12名
- 5/14 東京農業大学(本部・畜産) 1名
- 5/21 北上市議会(本部) 39名
- 5/27 日本共産党京都府議会(本部) 4名
- 5/27 川崎村妻神自治会(本部) 35名
- 6/3 岩手県家畜畜産物衛生指導協会(畜産) 1名